

海外短期プログラム参加者 報告書

- ※ 帰国後 15 日以内に提出してください。
- ※ 提出された情報は、海外留学 HP に掲載します。(色のついた部分は掲載しません)

留学先大学名	梨花女子大学(韓国)	
参加プログラム名	Ewha International Summer College Session1	
プログラム期間	2019 年 6 月 26 日 ~ 2019 年 7 月 24 日	
学部/学府・年次	農学部	4 年次
参加に要した費用	協定に基づく授業料免除の有無 → 有 「有」の場合、免除額を記入してください (3,060,000 ウォン)	
	航空運賃はいくらかかりましたか？ (往復 14,000 円程度)	
	その他相手先大学に納入した費用を具体的に記入してください(例:教材費、宿舎費、オプションの見学旅行など) 1,080,000 ウォン (宿舎費, フィールドトリップ費)	
このプログラムを選んだ理由	韓国語に興味があり短期の留学をしてみたかったため。 芸術分野の授業が面白そうだったため。 時期的に日本人留学生が少なそうだったため。	
進路の予定	大学院進学	
1. 参加プログラムと大学について		

<p>プログラム(カリキュラム等)の概要について</p>	<p>1、2 限目は英語で開講されるクラスです。経済、歴史、自然科学など様々な分野の授業が開講されていました。それぞれテストやプレゼンテーションなどの課題もありました。私は 1、2 限とも芸術分野を選択しました。EunhyeaChoi 先生の DrawingPractice というクラスが特に楽しくいい体験になりました。また、私は選択していませんがハンコを作るクラスや陶器を作るクラスが面白そうでした。</p> <p>3 限目は韓国語を学ぶクラスです。事前のウェブテストとサマースクール初日のスピーキングテストでクラス分けがされます。ただし、希望すれば違うクラスに変更可能でした。私のクラスでは、授業は基本的に韓国語で進行しましたが特に不自由な点は無かったです。先生も話しかけやすい雰囲気なので分からないことがあれば個別に聞けば大丈夫です。</p> <p>1～3 限までフルコマにすると 8:50~18:15 までが授業時間になります。授業があるのは月曜日から木曜日までです。</p>
<p>主催大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<p>留学生対応の事務室があります。また、留学生複数名に対して梨花大生がバディとして 1 人付きソウルでの生活を手助けしてくれるという制度があります。(ただし、オープニングセレモニーの際に当該の梨花大生が参加していない場合があります、すぐに連絡先を交換できるとは限らないです)</p> <p>留学生にも IC カードが配られるので図書館や自習室に入室することができます。</p> <p>寮の部屋は各部屋暗証番号式です。部屋は綺麗な印象で特に気になった点はありませんでした。私はシングルルームを利用しました。各部屋にシャワーとトイレは付いていましたが、各階にも共用のトイレとシャワールームがありました。共用のキッチンには浄水器も付いているので飲み物はあまり買わなくて済み助かりました。レンジもあるので、朝ごはんにはよくコンビニのスープごはんを買って食べました。</p>

<p>プログラムおよび大学に対する感想</p>	<p>1ヶ月のプログラムでしたが毎日同じ授業を行うのでそれぞれ15回ずつとなり充実した内容だったと思います。1、2限の授業は英語で進行することと、バディの梨花大生や他の留学生が英語が堪能なことがあり、全体的に英語を使う機会が多いです。</p> <p>先生方やスタッフの方々は優しい方がほとんどでした。サマーカレッジの学生は中国、香港やアメリカからの参加が多い印象でした。</p> <p>大学の立地がとても良くキャンパスも立派です。大学周辺に飲食店がたくさんあり昼休みには色々なお店に行きました。授業だけでなくソウルでの生活も楽しみたいという方にもおすすめの大学だと思います。</p>
<p>同じプログラムを希望する人たちへのアドバイス</p>	<p>ウェブサイトプログラム内容や寮について色々書かれているのでそれらをよく参考にしてください。</p>
<p>2. 事前手続き(ビザ申請などが必要であった場合)</p>	
<p>ビザの種類</p>	
<p>ビザ申請先</p>	
<p>必要書類、手続き方法</p>	
<p>手続きに要した時間</p>	
<p>その他必要な事前手続きがあれば記入してください</p>	

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	近くに美味しいキンパのお店があり、よくそこで買って食べました。マーラータンが流行っていて大学周辺にマーラータンのお店がいくつもあったのが印象的でした。留学生同士で美味しいお店の情報交換をして色々なお店に行きました。
生活費（全期間）及びおおよその内訳	
日本から持参した方がよいもの（PCや変圧器等の要不要も）	私の場合はPCはなくても大丈夫でした。 ドライヤーを自室で使用する場合は変圧器が必要です。
日常生活（治安対策を含め）に関するアドバイス	
お金の管理や受け取り（銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など）について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	基本的にクレジットカード(デビットカード)を使用しました。VISA と JCB を持っていきました。 学校に収めるお金は現金のみです。また、交通 IC カードにチャージする際も現金のみです。
4. 宿舎、生活環境	

宿舎の種類(○印をつける)	大学の寮
立地	寮は大学の構内にあります。
伝えたい地域情報、生活情報	大学内やその周辺は坂が多いです。
5. その他の特記事項	